

平成 2 1 年度 農作物病虫害発生予察 5 月月報

平成 2 1 年(2009年) 6 月 2 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	16.8	16.5	0.3	23.1	22.2	0.9	11.9	11.0	0.9
5.2	19.5	17.2	2.3	27.9	22.9	5.0	12.2	11.7	0.5
5.3	19.5	17.8	1.7	27.6	23.5	4.1	11.7	12.2	△ 0.5
5.4	19.1	18.2	0.9	25.1	24.0	1.1	13.4	12.7	0.7
5.5	19.9	18.9	1.0	24.6	24.6	0.0	16.0	13.5	2.5
5.6	19.6	19.8	△ 0.2	24.6	25.3	△ 0.7	15.9	14.6	1.3
平均・計	19.1	18.1	1.0	25.5	23.8	1.7	13.6	12.7	0.9
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	5.1	66	71	△ 5	6.0	34.2	△ 28.2	25.4	30.6
5.2	53	70	△ 17	0.0	35.1	△ 35.1	55.6	31.7	23.9
5.3	49	71	△ 22	1.0	36.1	△ 35.1	45.1	32.3	12.8
5.4	62	71	△ 9	20.0	33.0	△ 13.0	28.1	32.8	△ 4.7
5.5	68	69	△ 1	50.0	28.0	22.0	25.9	33.5	△ 7.6
5.6	64	72	△ 8	0.0	30.8	△ 30.8	34.8	39.5	△ 4.7
平均・計	61	71	△ 10	76.0	197.2	△ 121.2	214.9	200.4	14.5

II 作物の生育状況

- 1 ムギ類 : 成熟期は平年に比べやや早かった。
- 2 カンキツ : 開花期は平年に比べ、3～7日早かった。
- 3 ナ シ : 幼果の肥大は平年並み～やや良好であった。
- 4 タマネギ : 適度な降雨と温暖な気候により、球肥大は良好であった。抽台の発生は少なかった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2009年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																	
イネ いもち病 (苗いもち)	5月下旬の共同育苗施設 (29施設) の聞き取り調査では、下表のとおりであった。	—	—																	
苗立枯病	表 共同育苗施設の聞き取り調査結果																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗いもち</td> <td>0</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>13.8</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>苗腐敗症</td> <td>3.4</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>10.3</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	苗いもち	0	1.3	苗立枯病	13.8	3.3	苗腐敗症	3.4	1.9	ばか苗病	10.3	2.7		
病害名	発生施設率 (%)																			
	本年	平年																		
苗いもち	0	1.3																		
苗立枯病	13.8	3.3																		
苗腐敗症	3.4	1.9																		
ばか苗病	10.3	2.7																		
もみ枯細菌病 (苗腐敗症)																				
ばか苗病																				
セジロウンカ	5月23日に下関市清末の予察灯で初確認 (平年6月2日) され、平年並みであった。主な飛来波は下層ジェット気流の発達状況を検討した結果、5月22日頃 (少飛来) と推定された。	県内全域	—																	
トビイロウンカ	4月11日～5月26日の予察灯調査では確認されなかった (平年初確認日6月21日)。	—	—																	
ヒメトビウンカ	下旬のコムギのすくい取り調査では、20回当たり成幼虫数は101.9頭 (平年18.6頭) で平年に比べ多かった。イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は8.0% (平年1.2%) で平年に比べ高かった。	県内全域	—																	
ニカメイガ	予察灯 (県内2か所の発生地) による4月11日～5月26日の誘殺数は0頭 (平年0.7頭) で平年並みであった。	—	—																	
イネミズウムシ	予察灯 (県内4か所、4月11日～5月26日合計) における誘殺数は、1頭 (平年86.5頭) で平年に比べ少なく、成虫誘殺ピークは、認められなかった (平年成虫誘殺ピークは5月2～3半旬)。	県内全域	—																	
コムギ (調査ほ場数:15) 赤かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年26.7%)、発病穂率0% (平年2.1%) で平年に比べやや少なかった。初発生は5月18日 (平年5月14日) に山口市名田島で認められ、平年に比べやや遅かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年40.8%)、発病穂率0% (平年1.3%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 2																	

2009年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
コムギ うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（ 年16.0%）、発病葉率0%（ 年5.0%） で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（ 年15.7%）、発病葉率0%（ 年3.5%） で平年に比べやや少なかった。	—	—
赤さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（ 年0.7%）、発病葉率0%（ 年0.3%） で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
黄さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（ 年1.3%）、発病葉率0%（ 年0.5%） で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（ 年5.7%）、発病葉率0%（ 年2.6%） で平年に比べやや少なかった。	—	—
株腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% （前年46.7%）、発病莖率2.4%（ 前年3.7%） で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% （前年26.7%）、発病莖率1.1%（ 前年2.6%） で前年に比べ少なかった。	県内全域	多 95 中 47 計 142

2 果樹

2009年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生は認 められず、平年に比べやや少なかった （ 年発生ほ場率13.7%、 発病葉率0.4%） 。	県内全域	少 1
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.7% （ 年16.3%）、 発病花率0.6%（ 年0.7%） で平年並みであった。	県内全域	少 378
かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生は認 められず、平年に比べやや少なかった （ 年発生ほ場率7.8%、 発病葉率0.3%） 。	—	—
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% （ 年44.0%）、 寄生葉率0.3%（ 年3.6%） で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 303

2009年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平成34.0%)、発病葉率0.4% (平成0.6%)、発病新梢率0.1% (平成1.2%) で平成並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平成61.0%)、発病葉率0.4% (平成1.1%)、発病新梢率0.4% (平成2.2%) で平成に比べ少なかった。	県内全域	少 109
黒星病	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—
赤星病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成4.4%)、発病葉率0% (平成0.2%) で平成並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平成18.0%)、発病葉率0.01% (平成0.6%) で平成に比べやや少なかった。	県内全域	少 22
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平成46.0%)、寄生新梢率3.0% (平成2.7%) で平成並みであった。	県内全域	少 93
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%、寄生新梢率0.1%であった。	県内全域	少 22
果樹全般 カメムシ類 (チャバネオカメムシ、ツヤオカメムシ、クサギカメムシ)	予察灯(県内5か所、5月1半旬～5月5半旬合計)における誘殺数は、45頭(平成36頭)で平成並みであった。 山口市のフェロモントラップによるチャバネオカメムシの5月1半旬～5月5半旬の誘殺数は121頭(前年121頭)で前年並みであった。	県内全域	—

3 野菜

2009年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数:18) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平成24.7%)、発病株率1.2% (平成4.0%) で平成に比べやや少なかった。	県内全域	少 30
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0.0% (平成4.5%)、発病株率0.0% (平成0.4%) で平成に比べ少なかった。	県内全域	少 1
ボトリクス属菌による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率27.8% (平成6.3%)、発病株率0.9% (平成0.7%) で平成に比べやや多かった。	県内全域	少 49

2009年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年4.8%)、発病株率0%(平年0.1%)で 平年に比べ少なかった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年5.0%)、発病株率0.2%(平年0.1)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 20
萎黄病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.6%)、発病株率0%(平年0.5%)で平 年並みであった。	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率94.4% (平年83.6%)で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	中 79 少 99 計 178
野菜、花き類 アブラムシ類	5月の黄色水盤による誘殺数は、756頭 (平年409頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006

F A X 083-927-4071

テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者

普通作：藤村（病害） 中川（虫害）

果 樹：村本（病害） 殿河内（虫害）

野 菜：河村（病害） 溝部（虫害）